



平戸梨丘

発行：横浜市立平戸中学校 校長 阿部 亮一
横浜市戸塚区平戸町993-4 TEL.045-823-8272

「創造力」と「想像力」で充実した後期に

校長 阿部 亮一

10月4日(月)から臨時休業、分散登校期間をおえ、ようやく通常登校がはじまりました。しかし、学校におけるすべての活動について、引き続き感染予防対策をとりながら慎重に進めているのが現状です。保護者の皆様におかれましては、引き続きご家庭での感染予防および健康観察をよろしくお願い申し上げます。

10月22日(金)に「梨丘祭」学習発表会を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐために、例年と大きく異なる方法での開催となりました。そして今年度は保護者の皆様に少しでもご覧いただくことができ、大変うれしく思います。合唱コンクールにつきましては、過日お知らせしました通り、学年ごとに本校体育館で実施するよう現在計画を進めております。時期については、学年ごとに決まり次第、保護者の皆様にご連絡いたします。よろしくお願いたします。

「梨丘祭」学習発表会は、梨丘祭実行委員が中心となって、生徒全員で「今だからできること」を考え、工夫することですばらしい行事となりました。まさに生徒一人一人の「創造力」と「想像力」が成功に導いてくれたのだと思います。特に、開祭式や閉祭式、有志パフォーマンス、部活動等の発表は動画によるものでしたが、場所は離れていてもその感動はみんなで共有できたのではないのでしょうか。また、展示発表も工夫を凝らした作品ばかりで、それぞれの個性が表現された見事なものばかりでした。日々の学習活動の成果として、保護者の皆様にもご覧いただき、子どもたちも満足していたことと思います。

さて、梨丘祭では生徒たちの新たな「創造力」と「想像力」のすばらしさに感動しました。これらの力は、子どもたちが近い将来、社会で活躍するためのエネルギーになるものです。子どもたちには、どんなにICT機器が進化しても、仕事の多くを「AI」や「ロボット」にとってかわられても、最後は自分で考え、工夫し、自分らしい生き方をしてほしいと思います。

「後期」がはじまり、約1か月が経ちました。子どもたちには梨丘祭で発揮した「創造力」と「想像力」をさらにパワーアップするために、幅広い知識を身につけ、多様な経験・体験を積み重ね、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。そして3年生は「進路の実現」に向けた活動が本格化します。進路選択で大切にしたいことは、自分をしっかりみつめなおすとともに、平戸中学校を卒業後、どのような自分になりたいのか、どのようなことに挑戦したいのかといった「想像力」をもつことです。目の前の学習や生活を大切にしながら、将来の自分像をしっかりと思い描き、新たな自分を創造し、進路の実現につなげてほしいと思います。

私たち教職員も二つの「そうぞうりょく」を大切に、日々の教育活動をより充実させていきます。これからも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



◇ 前期終業式

10月8日(金)放送による前期終業式が行われました。平戸中学校では、2学期制で、この時期に終業式を迎えます。後期の始まりは始業式を行わないので、前期と後期の分かれ目という意味で「期分け式」としての意味合いもあります。校長先生の話の中でも、今日は「振り返りの日」としてほしいという言葉がありました。前期を振り返り、後期の良いスタートにつながることを期待しています。連絡票は、後期の頑張りに活用してほしいと思います。



また、「読書の秋」にちなみ、10月27日からの「秋の読書週間」の標語が、紹介されました。今年の標語は、『最後の頁を閉じた 違う私がいた』です。読書を通して、違う見方や考え方をする私になっているということです。本の作者の生き方や考え方を自分に当てはめてみることや、読解力を培うことは、生きていくうえで大切な力です。視野を広げ物事を考える選択肢の幅が広がることを願っています。

その後、専門委員会の認証式を行いました。校長先生から代表者に「認証状」が手渡されました。後期の生徒会委員会活動もよろしくお願いいたします。

◇ 梨丘祭

10月22日(金)第36回梨丘祭が行われました。夏休み前から準備を進めてきた実行委員の生徒たちは、クラスの友人たちの反応などから、達成感や充実感を感じていました。

実行委員の感想をいくつか紹介します。

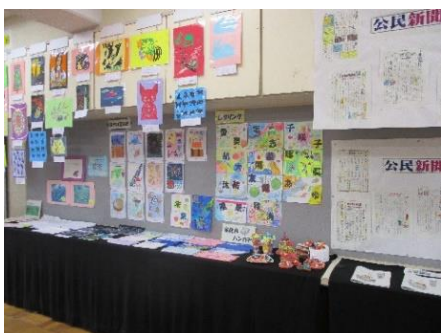
- 一人でやるのではなく、みんなで協力して行っていたので、ものすごく楽しかったです。他学年とも交流があり、いい機会だったと思います。
- ゼロから1を作る難しさを学びました。様々な意見をまとめて、どういう企画が出来るか、何をしたら楽しいかなど、常に相手側に立って考えていました。
- 実行委員の仲が深まりとても楽しかった。この委員会で多くの1・2年生と関わることができてうれしかった。



実行委員会でのまとめのなかに、「クラスごとの出し物や生徒全員が楽しめる企画を考えたい。」「他クラスとの交流が少なかった」「小学生や地域の方と関わりたい」という意見がありました。今後の課題もしっかりととらえていて、素晴らしいと思います。

また、保護者の皆様も、2・3年生保護者と1年生保護者と受付時間を分け、密を避ける形をとりながら見学をしていただくことができました。保護者の皆様から寄せられた感想をいくつか紹介いたします。

- 映像での発表でしたが学校生活の様子を見ることが出来て楽しい時間を過ごさせていただきました。
- 映像の編集からパフォーマンス、とても素晴らしかったです。中学生でもここまでできるのかと感心しました。
- フォトコンテストの写真とてもよかったです。青春ですね。工夫して楽しんでいる様子にジーンとききました。
- 例年すべての発表を見ることがないのですが、子どもたちと一緒に動画を見ることが出来てよかったです。教室の歓声が聞こえて、楽しんでいる様子が伝わってきました。
- 1年生の時と比べて子ども成長を感じました。中学3年間の集大成としてよい思い出になったと思います。



展示作品も、生徒の工夫や成長が感じられるものでした。時間をかけて制作した様子がよくわかります。生徒たちは、鑑賞のマナーを守り、決められた時間が「足りない」と声を上げるほど、丁寧に見ていました。美術室やその前の廊下には、全校生徒の作品が展示してあり、壮観です。生徒全員が発表団体に向けて書いたメッセージも、掲示・紹介されています。学校に来校された折には、ぜひご覧いただきたいと思います。

全国学力・学習状況調査の分析結果

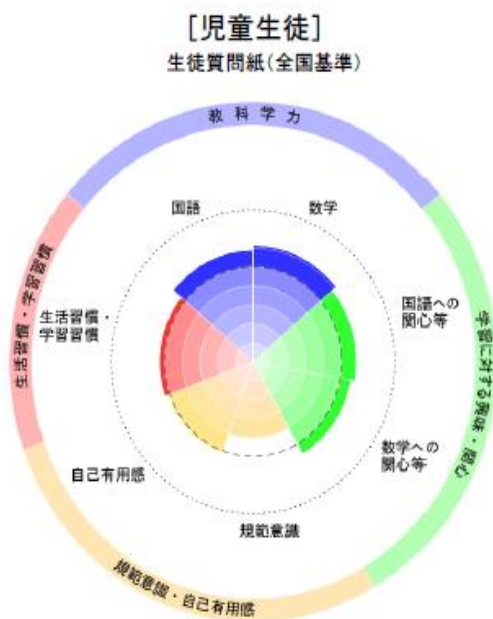
今年5月に実施された、全国学力・学習状況調査（中学3年生のみ実施）の分析結果が、文科省より出されました。

この調査は国語・数学で行われ、生徒質問紙では学習の習慣や生活習慣の意識が聞かれています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大における臨時休校の影響についても聞かれています。横浜市の分析結果を受けて、本校の結果をまとめました。

〔横浜市教育委員会の分析〕・・・調査結果から見る本市の特徴は、全ての調査結果において、全国の平均正答率に比べて高いか同等の状況です。中学校の数学においては、全国の平均正答率に比べ、2ポイント高い状況が見られました。また、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が、過年度と比べ、9ポイント増加していることが、特徴的でした。

〔グラフ：本校の結果〕

*円の中ほどにある破線が全国の平均を示しています。



平戸中学校の特徴としては、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に対して「よくしている」と答えた生徒が非常に高い状況を示しました。さらに「平日の学校以外での勉強時間」も全国と比較するとかなり多くを費やしています。また、「学校でのICT機器の活用が勉強の役に立つと思うか」という質問に対し、「そう思う・どちらかといえばそう思う」と回答している生徒の割合が半数を超えています。9月の分散登校期間以降、本校ではChromeBookを利用した授業・活動をより積極的に取り入れています。今後も活用・利用の方法を工夫し、効果的な学習を進めていきます。

一方で、「自分の考えや意見を深めたり、友達と話し合う中で、互いの意見のよさを生かして課題解決をするなどの活動」については、消極的な生徒が目立ちます。道徳科の授業や学級での話し合いの場を充実させ、「互いの違いを認め合い、おもいやりの心を育てる」という学校教育目標の達成に向けて、更に取り組んでいく必要があると考えます。

《各教科の分析と本校の課題》

【国語】

四領域全て全国平均を上回っていました。『読むこと』の中では「登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する」や「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」といった問いに対する正答率が高く、目的をもって文章理解に取り組んでいると考えられます。一方『話すこと 聞くこと』は全国平均を上回ったとはいえ、「目的に応じて自分の考えを話していますか」という問いに対して、他の取り組みより低い数値が出ています。積極的に発言する学年ですが、話し合いやグループ学習の場が失われた結果だと考えられます。今後は授業の中で、少人数で伝え合う学習の場を設定する必要があると思われます。

【数学】

どの分野も正答率が高く、よく理解していると思います。特に記述式の問題の正答率が全国平均よりも高く、授業中に「数学的な知識・技能を活用して、説明や証明を行う」ことに主体的に取り組んでいる姿勢が結果につながっていると考えられます。

「数学の勉強は大切だと思いますか」と答えた生徒が約85%、「数学の授業がよくわかる」と答えた生徒は約88%でした。「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」は、過年度の調査と比較すると約10%増えていますが、その他の項目と比較するとやや低い割合です。今後も身の回りのことと数学を結びつける授業展開をさらに工夫していく必要があると考えます。

◇第3回 平戸中学校学校運営協議会の報告

1 日時： 令和3年10月22日（金） 10時30分～ 場所： 校長室

2 次第（1）学校長挨拶

（2）本日の協議会の趣旨とねらい

本日は「生徒の表現活動について」を懇談のテーマとして、梨丘祭（学習発表会）での生徒の活動を見学と一人一台端末 chromebook の活用を紹介し、教育活動の成果や課題を明らかにしながら、今後の提言につなげることをねらいとしました。

（3）梨丘祭（学習発表会）見学

（4）中学校給食の紹介

（5）コロナ禍での教育活動の工夫と生徒の表現活動

毎日の健康観察を Chromebook で行うなど、活用例を実際に見ていただきながら、ICT 教育の推進状況の紹介や、今回の梨丘祭での meet 機能の活用などを紹介しました。実際の生徒の様子や、展示制作物での平戸中学校の現在の中学生の表現力の豊かさについて意見交換をしました。

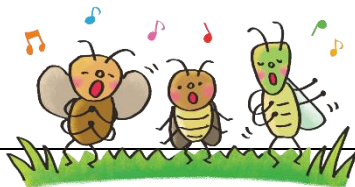
（6）次回の予定 令和4年3月3日（木）16:00～ 7月に3分科会で話し合われた内容を基にした学校での具体的な取組状況や学校評価の分析を資料に、協議いたします。

◇学校保健委員会

10月28日（木）に、「成長期の運動と食事～中学生の今 大切なこと」というテーマで、学校保健委員会が行われました。保健委員会で、全校生徒のアンケートをもとに、成長期の食事やけがの防止について知りたいことをまとめました。講師の株式会社明治の管理栄養士の“頑張る体をつくろう”という講演には、スポーツ選手の食事など興味深いものがありました。平戸小学校の栄養教諭からは、レシピの紹介など掲示物をいただきました。「身長を伸ばしたい」「中学生の今一番必要な栄養素を知りたい」「集中力を高める食事は？」など、生徒からの質問にも答えていただき、将来につながる有意義な学びとなりました。



今後の予定



日	曜	主な行事
11/1	月	全学年三者面談（～5日）
9	火	完全下校
13	土	竹林清掃（予備日 11/14日）
15	月	後期中間テスト（社・英・美・技家）※技家は、3年のみ
16	火	後期中間テスト（理・国・数・音）※音楽は、3年のみ
17	水	後期中間テスト（保体）※保体は、3年のみ 1・2年生は平常授業
18	木	8組みかん狩り戸塚区個別支援学級交流会 歯科再検診、PTA 役員会 9:30、PTA 運営委員会 10:30
20	土	みはらし公園清掃 9:00
22	月	⑥薬物乱用防止教育 完全下校
29	月	⑥全校集会
30	火	完全下校
12/2	木	3年三者面談（～7日）※3年生は、午前中授業（昼食なし）
9	木	ハマ弁メニューコンクール給食



※延期しておりましたハマ弁メニューコンクール給食は、12月9日（木）に行います。参加希望については、後日案内プリントを配付して参加確認をさせていただきます。